

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成24年 6月 20日

愛知県知事 殿

提出者
住 所 愛知県刈谷市一里山町深田15番地
氏 名 三和油化工業株式会社
代表取締役 柳 忍
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0566-35-3000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三和油化工業株式会社
事業場の所在地	愛知県刈谷市一里山町深田15番地
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	16:化学工業									
②事業の規模	製造品出荷額: 503,417万円									
③従業員数	182人									
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;">蒸留回収: 廃油 汚泥 廃プラスチック類 廃アルカリ 廃酸</td> <td style="border: none;">}</td> <td style="border: none;">中間処理業者に委託して焼却、若しくは再生処理業者に委託して、セメント原料として再資源化</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">運搬パレット: 木くず</td> <td style="border: none;">→</td> <td style="border: none;">中間処理業者に委託して破碎後、燃料として再資源化</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">空ドラム: 金属くず</td> <td style="border: none;">→</td> <td style="border: none;">中間処理業者に委託して破碎後、鉄鋼原料として再資源化</td> </tr> </table>	蒸留回収: 廃油 汚泥 廃プラスチック類 廃アルカリ 廃酸	}	中間処理業者に委託して焼却、若しくは再生処理業者に委託して、セメント原料として再資源化	運搬パレット: 木くず	→	中間処理業者に委託して破碎後、燃料として再資源化	空ドラム: 金属くず	→	中間処理業者に委託して破碎後、鉄鋼原料として再資源化
蒸留回収: 廃油 汚泥 廃プラスチック類 廃アルカリ 廃酸	}	中間処理業者に委託して焼却、若しくは再生処理業者に委託して、セメント原料として再資源化								
運搬パレット: 木くず	→	中間処理業者に委託して破碎後、燃料として再資源化								
空ドラム: 金属くず	→	中間処理業者に委託して破碎後、鉄鋼原料として再資源化								

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
専務(廃棄物処理統括責任者、産業廃棄物管理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者)	
— 管理部 —	生産管理G(主管部門)
— 製造部 —	保全課長(産業廃棄物処理施設技術責任者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(平成23年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 「別紙のとおり」		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 「別紙のとおり」		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・引火性廃油、腐食性廃酸、引火性廃油(特定有害)はそれぞれに分別し、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 「別紙のとおり」		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 「別紙のとおり」		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 「別紙のとおり」		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 「別紙のとおり」		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 「別紙のとおり」		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 「別紙のとおり」		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 「別紙のとおり」		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 「別紙のとおり」		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
①現状	【前年度(平成23年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず
	排出量	10,381 t	22,308 t	2,854 t	6,569 t	309 t	40 t	11 t
	(これまでに実施した取組) ・蒸留回収率向上の取組により、発生する廃棄物の発生率を抑制している。 また洗浄工程を省く取組により、廃棄物の削減を行っている。							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず
	排出量	7,050 t	20,300 t	3,700 t	3,000 t	151 t	30 t	5 t
	(今後実施する予定の取組) ・引続き、洗浄工程から発生する廃棄物を削減するため、極力洗浄工程を省くような生産管理を行っていく。							

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
①現状	【前年度(平成23年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-
	(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-
	(今後実施する予定の取組)							

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項								
①現状	【前年度(平成23年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	7,441 t	197 t	2,099 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	52 t	7,441 t	197 t	2,099 t	1 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・熱回収装置や混合エマルジョン化の許可を使用し、再生利用率を高めて付加価値の向上を図っている。							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	8,000 t	100 t	2,000 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	50 t	8,000 t	100 t	2,000 t	1 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・引続き、更なる減量率向上を目指し、廃棄物の分別促進や作業効率の向上、付加価値の向上を行う。							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
①現状	【前年度(平成23年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-
	(これまでに実施した取組) ・実施していない							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(平成23年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず
	全処理委託量	10,329 t	14,867 t	2,657 t	4,470 t	308 t	40 t	11 t
	優良認定処理業者への処理委託量	928 t	269 t	0 t	2,522 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	3,683 t	22 t	0 t	0 t	77 t	40 t	11 t
	認定熱回収業者への処理委託量	1,476 t	6,011 t	1,095 t	525 t	231 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	4,242 t	8,565 t	1,562 t	1,423 t	0 t	0 t	0 t
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社から最終処分場へは排出しておらず、外部委託先においても再生利用業者への処理委託を進め、原料・材料として再利用することを進めている。 ・優良認定業者や認定熱回収業者の認定を取得した処理業者へ、出来る限り処理委託を行っている ・委託先処理業者へ実地確認を年1回実施し、適正な処理を行っているか確認している。 							

②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず
	全処理委託量	7,000 t	12,300 t	3,600 t	1,000 t	150 t	30 t	5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	200 t	0 t	600 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	3,500 t	100 t	0 t	0 t	30 t	30 t	5 t
	認定熱回収業者への処理委託量	200 t	5,500 t	2,000 t	0 t	120 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	3,300 t	6,500 t	1,600 t	400 t	0 t	0 t	0 t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り、優良認定処理業者への処理委託を進めていく。 ・引き続き、委託先処理業者へ実地確認を継続して行っていく。 								
※事務処理欄								